

黒河（くろこ）の会 便り1号

平成25年6月

先にお知らせ致しました黒河の会からその後の取り組みや、動き、話題等をお知らせする会報を出す事にしました。

市、県の取り組み

平成22年23年とルートの現地調査を開始し、24年に調査資料による 関連文化財学術調査報告書 を作成し、現在文化庁に 国指定に申請中です。 国の審査で史跡として認定された場合、文化庁は26年ユネスコに 紀伊山地の霊場と参詣道として世界遺産に申請する事になります。 27年は高野山開創1200年祭に当たるとともに、和歌山国体が開かれる年です。これに合わせて世界遺産へ登録申請の予定です。

橋本市では5月4日「高野登山黒河道を行く」を行い、教育長はじめ20人余りの方が定福寺を8:00時に出発し、久保小学校に11:45到着、1時間の昼食休憩をして、15:00に奥の院に到着したようです。この登山は道路の整備状況などの確認と今後の整備のための調査でもありました。橋本市域内見どころとして、定福寺、岩崖の観音、鉢伏の大師井、ワラン谷の滝、赤石など活用出来ないかとの意見でした。

くろこの会 5月の動き

橋本市教育委員会を訪問、北川室長、大岡学芸員に面談 「黒河（くろこ）の会」発足の説明と、市としての取り組みの現状を聞きました。 今後の問題点として、環境整備に関して、市、県、としてどの様なイメージを持っているのか等について、地元地権者や住民との説明会を持つよう依頼しました。 6月には県教育委員会と市の担当による説明会を開く予定です。

また、「ふるさとの山に花を」の会と共同で、黒河道にも花を植えようと計画しています。

講演会のお知らせ

6月29日(土)午後2時から 橋本市地区公民館(商工会議所ビル2階)で高野山大学図書館 木下 浩良 先生の講演があります。(別紙参照) 木下先生は黒河道を何度も歩き、定福寺の石仏などを再三調査に来られています。是非ご参加を!